

「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」に要請 !!

令和5年3月13日（月）、「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」設立総会では、林芳正代表世話人、武見敬三代表世話人代理と古賀篤事務局長が承認されました。

その後、松本吉郎日本医師会会長と藏内勇夫日本獣医師会会長から挨拶と要請が行われました。



藏内勇夫日本獣医師会会長

【藏内勇夫日本獣医師会会長：挨拶】

麻生先生はじめ皆様方にワンヘルス推進議員連盟を立ち上げていただき、感謝申し上げます。2013年に医師会と学術協定を結び、その後、厚労省と一体となってワンヘルスの実践に取り組んできました。ワンヘルスの大きな柱は感染症対策、AMR、薬剤耐性菌対策です。

ワンヘルスは、COVID-19の特効薬ではありません。ウイルス由来の感染症は自然災害の一種で、生物起因の災害です。災害であるから備えが必要です。

その備えがワンヘルスの原点です。

これまでの活動で多くの課題が分かってきました。国にどうしても論議し整理していただきたい問題が出てきましたので、今日皆さんにお願いできることは我々にとって大変ありがたいと思っています。

藏内勇夫日本獣医師会会長から、新たに設立された「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」の林芳正代表世話人に対して、「ワンヘルス施策の推進について」の要請が行われました。



林芳正代表世話人

【ワンヘルス施策の推進について：要請】

地方での緊急事態措置の実施体制を強化するため、国の機関としての「**アジア新興・人獣共通感染症センター（仮称）**」を九州に設置すること。また、福岡県が先行して実施する地方自治体における保健環境研究所と動物保健衛生所（家畜保健衛生所の業務を現行の家畜・家禽のほか、愛玩動物及び野生動物にも拡大）が連携する「**ワンヘルスセンター**」の設置に支援すること。

アジアにおける新興・再興感染症等の発生予防・まん延防止、薬剤耐性菌対策等に取り組む日本獣医師会及びアジア獣医師会連合（FAVA）による次の活動等に支援すること。

- （１）人と動物の健康、環境保全などを含むワンヘルスの普及・実践
- （２）アジア各国の若手獣医師に対する感染抑制技術等の研修と連携
- （３）**FAVA ワンヘルス福岡オフィスに対する国際獣疫事務局（WOAH（OIE））アジア太平洋地域代表事務所に準じる優遇措置の付与**

（一部抜粋）

2023年3月14日

福岡ワンヘルス協議会・事務局